

たくみ

CraftsmanShip

特集 世界の民藝—海外の新古民藝品を集めて— 第39号
 特集 越中八尾の和紙と紙子

オリンピックと

里山の子供たち

史上最高の国々の参加と、おそらく二度とはないであろう巨額な資金を投じて開催された北京オリンピックが閉幕した。世界の注目を浴びたこの大会を機に、チベットやウイグルなど中国西部の広大な地域に住む少数民族の自立や独立への活動が激化し、大会そのものが多くの規制や偽装のもとに行われたことは広く知られたことである。

ところで今回のオリンピックでも、水泳や陸上などの競技で数多くの新記録が生まれた。その理由はいろいろあるが、その一つは貧しい国の若者にも世界的な大会に出場するチャンスがふえたことである。もともと身体能力の高い彼らだから正規な訓練の場と目的意識を与えられれば飛躍的に成長するのは間違いない。賞金の高額なテニスやゴルフなどのプロスポーツで、近年、ロシアなど東ヨーロッパや、アジ

アの若手女子選手が台頭しているのも同じ理由からであろう。

さて、足元の日本はどうだろうか。

子供たちの基礎体力が衰えているのは周知のことだが、といって学校の体育授業にも限界がある。何しろ幼児からアニメやテレビ、ケイタイなどのデジタル的環境の中で育った子たちである。家族関係も含めて生活体験そのものが擬似的といってもいい。

そう感じていた矢先、試写会で「里山つ子たち」(桜映画社製作)という長編記録映画を観た。市街地に残る里山で保育を実践している千葉県木更津の社会館保育園の一年半にわたる記録である。森と畑、小道とせせらぎ。そこに生命を育む虫や小鳥。それらに触れ合って泥んこで遊ぶ子ら。けんかをし、怪我をして大声で泣く。そしていつの間にか三メートルの竹馬をも乗りこなすのである。子供たちの成長の逞しさ。見守る大人の笑顔。未来への希望の余韻に浸る吾。(志賀直邦)

たくみ特別展

世界の民藝 ―海外の新古民藝品を集めて―

会 期 平成20年9月27日(土)～10月4日(土)
9月28日(日)は営業いたします。

会 場 銀座たくみ2階ギャラリー
営業時間 11:00am～7:00pm (日祝日・最終日は5:30pmまで)

出品品目 木工品、染織品、家具、玩具、雑貨

生 産 国 韓国、中国、インド、インドネシア、フィリピン、タイ、ラオス、
グアテマラ、エクアドル、イラン、アフリカ、メキシコ、ペルー



布と布製品 アジア、アフリカの麻布、綿布、バッグ、クッション、スリッパほか



家具と雑貨 韓国の虎足盤、インドネシアの築、ペルーの素焼き鍋ほか



雑貨と玩具 アフリカの木彫立像、メキシコの素焼彩色鶏、中国の鉄土瓶ほか



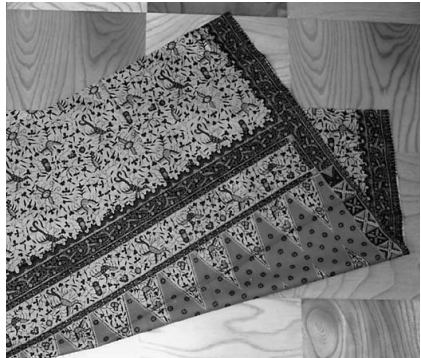
ケンテクロス(トーゴ) 86,100円



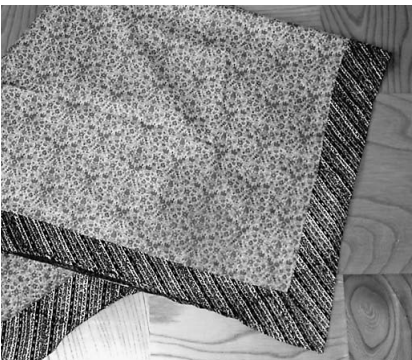
絞り布(ナイジェリア) 31,500円



エウェ地方の手織布(アフリカ) 34,650円



ジャワ更紗サロン(インドネシア) 50,400円



手描更紗布(イラン) 26,250円



肩掛布(インドネシア) 102,900円

十月の企画展

漆工房創元舎

佐藤阡朗漆展

会期 平成二十年十月十一日(土)

十六日(木)

十月十二日(日)、十三日(月)

祝日は営業いたします。

会場 たくみ二階サロン

営業時間 十一時から十九時まで
(日・祝日、最終日は十七時半まで)

◆講話会◆

「佳いものを造りたい」

初日(十月十二日) 午後五時から
展示会場にて作者佐藤阡朗氏
のお話があります。

どうぞご参加下さい。参加は無料です。



編組品と木工品

フィリピン、インドネシアの木彫ドアー、
ラオスの藤スツール、韓国の柳、竹、藁細工ほか

越中八尾の和紙と 紙子の品々

近ごろ和紙のほんとうの価値、その美しさについて語られることがない。和紙の材料は楮^{こうぞ}、三桠^{みつまた}、雁皮^{がんび}などの繊維と粘剤としてのとろろ^{あわい}葵である。いずれも日本の風土に適し、丈夫で美しく、昔から各地で暮らしに役立つ品々を生み出してきた。“風の盆”で名高い越中八尾の町もその一つである。

富山は行商による売薬で知られ、作られる和紙も売薬用紙、唐傘の紙、障子紙などが主であったという。その八尾町の吉田桂介が若きころ柳宗悦の論稿「和紙の美」に触れ、志を立て戦後間もなく和紙とその加工品の工房、桂樹舎を興した。自ら型染作家の芹沢銈介を師と仰ぎ、子息泰樹を芹沢の染紙研究所に入門させた。

桂樹舎によって作られる品は多岐にわたる。手漉きの大判色和紙、文具、

型染紙、それに今ではこの特色となった紙子製品のさまざまなバリエーションがある。それらの一部を写真図版でご覧にいれよう。いずれも実用的なものばかりだが、中でも型染め模様の紙子クッションはおすすめである。



クッション 7,350 円



ます型小銭入 1 個 997 円



手提袋 7,350 円



耳つきはがき 672 円(10 枚)



耳つき名刺 1箱100枚 3,360円



文庫箱
3,780円(小) 5,040円(中) 6,300円(大)



ペンケース 1個 2,520円



ぼち袋 1枚 451円



ミニレターセット 1,008円



姫和帳 1冊 1,523円



懐紙はさみ 1個 1,890円



レターセット 1,523円

たくみ歳時記

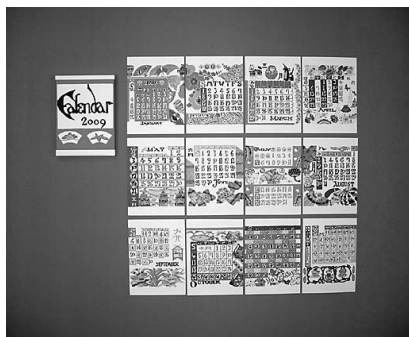
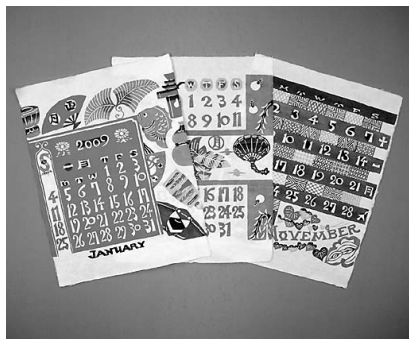
芹沢版型染カレンダー

二〇〇九年版のこと

芹沢銈介先生による型染カレンダーの制作は第二次大戦終結の翌年からです。来年度版で六十三年目となります。一九八四年の先生の没後には子息の長介氏の監修で、越中八尾の桂樹舎の制作協力で刊行されてきました。しかしこのたび諸般の事情により、

一応来年の二〇〇九年度版で終刊することになりました。海外での評価も高く、惜しむ声も多いのですがご了解いただきたく存じます。

カレンダーに限らず和紙に型染めした純和風文具、雑貨は材料費や工賃、手間も高く、今では制作の後継者がほとんどいない現状です。世界に誇る日本の手漉き和紙の仕事を後世に残すためにもご愛用のほどお願い申し上げます。



上 型染カレンダー 16,275円
下 卓上カレンダー 1,103円

あとがき

いつも心の中に在った思い。それが古くからネイティブアメリカン(インディアン)の格言として伝承されていたことを知った。その一部を紹介する。

ホピ族の倫理

長生きするためには
幸せでいることだ
心配は人を病気にする
怒るのはよくない癖だ
無垢な心をもち怒らない人は
きつと長生きするだろう
罪を犯す人は病気になる
悪い考えを抱えているからだ
幸福はそれ自体が良いことであるばかりか
健康にもとても良い

『それでもあなたの道を行け』より

発行 株式会社たくみ

東京都中央区銀座八四一二
発行責任者 志賀直邦

電話 〇三―三五七―二〇一七
FAX 〇三―三五七―二一六九
振替 〇〇一〇―二一三五六五九
定価 六〇円(税込)